



日本の古代国家と東アジア －華夷の思想をめぐる－

講師：大阪府立中央図書館名誉館長
姫路文学館館長・京都大学名誉教授
上田 正昭 氏

中華を中心に周辺の民族や国家を東夷・西戎・北狄・南蛮とする中華・夷狄の思想は、古くから漢民族が持ちつづけてきた。そして「天下」（世界）は中国の天子が夷狄を徳化することで成立すると主張した。古代の東アジアの国際関係には、この華夷思想が大きな影響を及ぼしたが、東夷である日本の古代国家（律令国家）は、中国（唐）を「大唐」とし、新羅や渤海などは「蕃国」とみなした。そして蝦夷や倭人たちを「夷狄」とした。

そしてそこに、日本版「中華思想」が具体化する。「内帰」・「欽化」の「帰化」の概念も中華・夷狄の思想にもとづき、そのありようは、隋・唐・渤海・新羅との外交関係に反映されている。こうした華夷の思想は、日本の近代化の過程にみいだされる「脱亞入欧」の論調によみがえる。東アジアの未来にとっても華夷思想の克服は、大きな課題のひとつといえる。

日時と場所	平成17年7月21日（木曜日） 18時15分～19時45分（開場17時30分） 京都大学百周年時計台記念館 百周年記念ホール
参加費用	無料
定員	先着500名
対象	学生・教職員及び一般の方々
申し込み	当ページ申込フォームまたは往復はがきにて下記までお申し込みください。 なお、往復はがきによる申し込みについては、「第16回未来フォーラム参加」と明記の上、住所、氏名、年齢、職業、連絡先を記入し、返信はがきには、必ずご自身の宛先を記入してください。
問い合わせ先	〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学百周年時計台記念館事務室 TEL 075-753-2285（月～金曜日 9時00分～17時00分） http://www.kyoto-u.ac.jp/top2/11-top.htm E-mail: kinen52@mail.adm.kyoto-u.ac.jp

上田正昭氏の略歴

1950年 京都大学文学部卒業

京都大学教授を経て、

1991年 大阪府立大阪女子大学学長

現在、アジア史学会会長、社説学会理事長、中国社会科学院学術顧問、中国西北大学名誉教授、世界人権問題研究センター理事長、京都府埋蔵文化財調査研究センター理事長、京都市生涯学習振興財団理事長など

主な著書

「日本神話」、「古代伝承史の研究」、「上田正昭著作集」（全8巻）など多数

主催 京都大学

後援 （財）京都大学教育研究振興財団